

学校管理下における水泳時の死亡事故

【事故発生年度1983-2012年度(30年分), 部活動を除く】

最終更新日 2014年4月18日

作成者 内田 良 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授)

ウェブサイト「学校リスク研究所」 <http://www.dadala.net/>Yahoo!ニュース個人 <http://bylines.news.yahoo.co.jp/ryouchida/>

twitter @RyoUCHIDA_RIRIS

事例ID	『死亡・障害事例』年度	事故発生年度	学年(修正)	性	区分(修正)	場所	死因	事故の概要	急性死・突然死(心臓)	急性死・突然死(脳)	頭頸部損傷	溺死	その他・不明
sw001	昭和60(1985)	昭和58(1983)	小1	男	体育	プール	頭部外傷	〔コンクリート製プールデッキが落下〕 本児たちは、水泳指導のため水着に着換え、運動場での準備体操後、シャワー、腰洗場、シャワーの順に通リ、小プールのデッキに腰を下ろしていた。全員(33人)がそろったので全員起立し、本時の教育目標を指導するため、男子2列の外側へ女子を2列に集めたとき、縦3.5m、横2.1mのプールデッキが1.5m下の地面に落下した。このとき、壊れたコンクリートに頭部をはさまれた。			○		
sw002	昭和60(1985)	昭和58(1983)	小2	男	体育	プール	溺水による心臓停止	〔おぼれる〕 水泳指導のための健康観察、プール入水者及び見学者の確認が行われ、午前8時40分ごろ、入水者28名は準備運動後、高学年プールの壁につかまり徐々に入水した。数分間水に慣れさせ、水泳能力の程度の把握に努め、一旦全員がプールを上げてグループ分けが行われ、本児は「けのび」のできないグループに入った。その後、他の組の児童が本児の異常に気づき、教師に知らせたので、コース東端で顔を水に伏せ浮いていた本児を救出、人工呼吸を行いながら救急車で病院へ移送し、心臓マッサージ等が行われたが死亡した。				○	
sw003	昭和60(1985)	昭和58(1983)	小5	男	体育	プール	溺死	〔おぼれる〕 体育の時間に校内プールで水泳の授業が実施された。準備運動後、3人1組になってクロールや平泳ぎ、背泳ぎ、飛び込みの順序で練習が行われ、その後児童たちは、プール西側に上がり、泳げる児童は5～6分間の時間を予定して泳法を選択し、各自自由に練習するよう指示された。児童たちは、各自練習に入ったが、同じプールの西側で練習していた児童が、プールの底に沈んでいた本児を発見し知らせたので、担任教師が引き上げ、人工呼吸を行い、救急車で病院に移送し治療が行われたが、死亡した。				○	
sw004	昭和60(1985)	昭和58(1983)	小6	女	体育	プール	溺水	〔おぼれる〕 体育の時間は水泳授業であったが、本児たちは、準備運動後、スタート台後方に小さい順に4列縦隊に並び腰を下ろして待機し、最初は、プールに慣れるため自由泳をした。第2回目の慣らし泳ぎも第1回目と同様の方法で行われ、3～4列目のグループがスタートしたと思われる間もなく、プールサイドで見学していた児童が、プール中央付近で顔を水につけて浮いている本児を発見、教師が直ちにプールに飛び込み、本児をだき上げプールサイドにおいて人工呼吸を行い、救急車の出動を要請し、総合病院に移送したが死亡した。				○	

sw005	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	中3	男	学校行事	海	溺死	〔おぼれる〕 当日は、遠泳訓練実施のため午後2時3分出発した。途中第1回目の全員点呼では異常はなかった。その後本生徒は、隊列から少しはずれたが、元の隊列に復帰し、変わらぬ泳ぎをしていた。しばらくして、はげましの声を掛けたところ返事がなかったため、監視船からブイを投げたが、それと同時に本生徒は、急に足から消えるように沈んで行った。直ちに救助に当たったが見失い、午後6時45分頃、本生徒を発見、浜辺で人工呼吸などを行い、救急車で病院へ運び処置を受けたが死亡した。							○	
sw006	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	小5	男	水泳指導	プール	水死	〔排水口に吸い込まれる〕 夏季休業中の水泳指導に参加、本児は、友人2名と第1コース飛び込み台の下の浄化装置の排水口付近で遊泳していた。そのうち、友人はその場を離れたが、本児は、その場に残り立ち飛び込みや潜水などをしていた。そのうち、本児が水中でもがいているところを友人が見つけ、急ぎ監視人の助けを求めた。監視者2名が、直ちにプールに飛び込み引き上げようとしたが、直径13cmの排水管に右脚大腿部まで引き込まれているため、容易に救出することができなかった。校長ほか2名の教師が救助にかけつけ、浄化装置の電源を切って、排水を止めたうえで、プールサイドに引き上げ、人工呼吸を行い、その間に救急車が到着し、引き続き隊員による人工呼吸、医師の救急活動が行われたが、水死と断定された。								○
sw007	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	小4	女	体育	プール	〔死〕急性心不全(その他の身体状況 溺水) 〔剖〕肺水腫, 副腎萎縮	水泳中								○
sw008	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	小5	女	水泳指導	プール	〔死〕急性心不全	水泳後								○
sw009	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	小6	女	体育	プール	〔死〕急性心不全	水泳中								○
sw010	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	小6	男	水泳指導	プール	〔死〕急性心臓病	水泳中								○
sw011	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	小6	男	水泳指導	プール	〔死〕急性心不全	水泳中								○
sw012	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	中1	男	水泳指導	プール	〔死〕急性心不全	水泳後の休み中								○
sw013	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	中2	男	体育	プール	〔死〕急性心不全	水泳中								○
sw014	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	中3	男	水泳大会	プール	〔死〕急性心不全 〔既〕収縮器雑音(小1年時)5歳時心臓手術	水中走行中								○
sw015	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	中1	女	水泳大会	プール	〔死〕急性肺水腫(プールで溺れたこと) 〔剖〕肺水腫	水泳直後								○

sw016	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	中3	女	体育	プール	[死]末梢循環不全 [剖]大動脈低形成, 全身臓器うっ血, 肺出血	水泳中							○
sw017	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	中1	男	水泳指導	プール	溺死	[排水口に吸い込まれる] 夏休みの水泳指導の際, 生徒達の一部が水中ジャンプという遊びを行っていたが, 出来るだけ深い所からとび上ってみようということから, 3年生の2人が排水口の鉄製格子蓋を動かし, その底から水中ジャンプをして遊んでいるうち, 蓋を元に戻さないでその場所を離れた。その後, 本生徒は, 鉄格子蓋が半分開いているので, 排水管の中を見なくなったのか, 水中に潜り排水口に吸い込まれたようである。排水口の中に沈んでいる本生徒を発見した生徒が, 応援を得て救出に当たったが, 引き出すことができなかった。その間に本生徒は, 排水管内に吸い込まれたので, ポンプ車6台で排水を行い, 排水管をはずし, さらに削岩機でコンクリートを壊して管を切断して引き上げたが, すでに死亡していた。					○		
sw018	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小2	男	体育	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						
sw019	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小4	男	体育	プール	[死]エプシュタイン氏症(約10年) [既]大動脈上部狭窄症候群	浮輪で遊泳中							○
sw020	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小4	男	水泳大会	プール	[死]心臓麻痺	水泳中	○						
sw021	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小5	男	体育	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						
sw022	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小5	男	体育	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						
sw023	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小5	男	体育	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						
sw024	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小5	男	体育	プール	[死]QT延長性症候群(急性心不全)	水泳中	○						
sw025	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小5	女	体育	プール	[死]溺水, 外因死(その他及不詳)	水泳中						○	
sw026	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小5	男	水泳指導	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						
sw027	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小6	男	体育	プール	[死]急性心機能不全 [剖]両肺極軽度肺水腫, 心260g, 脾180g	水泳中	○						
sw028	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	小6	女	体育	プール	[死]窒息死, 溺死	水泳中						○	

sw029	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	中1	女	体育	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						
sw030	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	中1	男	水泳大会	プール	[死]急性心不全	水泳後	○						
sw031	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	中3	男	体育	プール	[死]急性心不全	水泳後	○						
sw032	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	高2	女	体育	プール	[死]急性心不全	水泳後	○						
sw033	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	小2	女	体育	プール	溺死	[水泳練習中溺れる] 泳力別に3グループに分け(A 3メートル以上泳げる B 3メートルまで泳げる C 泳げない)、水泳指導をしていた。本児はAグループで指導を受けていた。そして自己の記録を伸ばすために全力を注いだ。25メートルを1回泳ぎ(途中で何度か立つ)、2回目に挑戦していたとき、23メートル泳いで残すところ2メートルの所で、急に泳げなくなりそのまま沈みはじめた。本児の異常に気づいた教師が、本児の所まで約10メートル夢中で泳いでいき、うつぶせになって沈んでいく本児を抱き上げた。このとき本児の唇は紫色で口は半開き、体はだらりとした状態であった。人工呼吸など応急処置をし、救急車で病院へ移送され治療を受けるが、死亡した。					○		
sw034	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	高3	女	学校行事	海	窒息死	[遊泳中高波をかぶる] ホームルーム活動の一環として、キャンプを1泊2日の日程で実施した(教諭2名、生徒17名)。宿舎到着後、昼食、諸注意(台風7号の影響などあり、自分の実力に応じて遊ぶこと、遊泳禁止区域では泳がないこと、グループで行動することなど)後、10分間準備体操を行い、海水浴となる。全員遊泳可の圏内にいた。30分経過したので1回目の休憩をとるよう指示(入水しているのは8名グループと6名グループ)。いったん浜に上がったが、間もなく、本人を含めた3名が遊泳禁止標識近くの海に入り、生徒ともう一人が手をつなぎ水遊びをしていた。近くには子供を含め20名位がいた。腰高程度の深みでの遊泳であったが、急に1.5mほどの高波をかぶり流された。級友が周囲の人に救助を求めたが、行くえがわからず、約10分後砂浜近くに、仮死状態で発見され、蘇生術を実施し、救急車で病院に移送したが、死亡が確認された。						○	
sw035	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	小5	男	体育	プール	[死]急性心不全 [既]特発性心筋症疑	水泳中	○						
sw036	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	小5	男	体育	プール	[死]低酸素脳症	水泳中		○					
sw037	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	小6	男	体育	プール	[死]心停止	水泳中	○						
sw038	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	小6	男	水泳指導	プール	[死]水溶死	水泳後	○						
sw039	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	中1	男	水泳大会	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						
sw040	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	中2	女	水泳大会	プール	[死]心停止	水泳中	○						
sw041	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	中3	女	水泳大会	プール	[死]急性心不全	水泳中	○						

sw042	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小1	男	体育	プール	溺死	体育の水泳の時間、プールで泳力調査(泳法、タイムにかかわらず泳ぐ距離を測定)を実施中、本児は泳ぎが得意でなく、4~5m泳いだところで水を飲み水底に沈んだものと思われる。(反対側のプールサイドにいた教諭が水底に沈んでいた本児を発見)病床に移送したが約2時間後に死亡した。				○	
sw043	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小1	女	体育	プール	溺死	体育の時間、プールで水泳指導を行った。(気温25°C、水温27°Cで水深60cm~70cm)準備運動後、クラスごとに水かけ、電車ゴッコ、伏せ面等を行い、4分位の休憩後、プールサイドにつかまり一列になってバタ足の練習を始めて間もなく、本児が両足を伸ばし水に伏す姿勢で沈みかけた。病院へ移送、同日、転院し入院したが意識不明の状態が続き4年8か月後に死亡した。				○	
sw044	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小5	男	体育	プール	溺死	体育の時間(5校時)プールで水泳学習を実施、水慣れのためプールサイドに座って水をかけ、足先から静かにプールに入り、呼吸練習、水中歩行、潜り方、安全な立ち上がり方の順で練習した。次にプール横7m横一列スタートして元の場所(プールサイド)へ戻るとき、ゴール直前の約2m地点で遅れていた本児がもがくような異常な動きをしたので、プールサイドへ抱き上げた。病院へ移送したが、同日午後4時26分死亡した。				○	
sw045	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小5	男	水泳指導	プール	溺死	夏季プール指導中、プールで他の友人二人と、どれだけの間もぐれるか競争して遊んだ(水深1m)。数回した後友人二人は上がったが本児が浮き上がらないので、「もうやめよう」と言って、その場を離れ泳いで行った。その後、水面に浮いている本児が発見された。病院へ移送、手当を受けたが間もなく死亡した。				○	
sw046	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小5	男	体育	プール	溺死	体育の時間、プールで(長さ25m、最深部1.06m)水泳の実技練習中、3回目の泳ぎでクロールの練習をしていたときスタート点から18m程のところで泳いでいる格好で浮いているのを発見された。医院に移送されたが、手当での効なく死亡が確認された。				○	
sw047	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小6	男	体育	プール	溺死	体育の時間、プールで水泳指導をしていた。プールを横に泳ぎ終ると水から上がり、元の場所へ戻り、笛の合図で又泳ぐことになっていた。1、2、3班が泳いだ後、教師も4班と一緒に泳ぎ、その後、本児が沈んでいるのを見つけ引き上げた。病院へ移送、手当てを受けたが間もなく死亡した。(本児の水泳能力は、13mの距離を3~4回立ちながら、泳ぐというよりパチャパチャと水をたたたく程度)				○	
sw048	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小6	女	水泳大会	プール	溺死	水泳大会参加のための練習をプールで行っていた。体を慣らすため流し泳ぎ100m、ビート板を使ってバタ足の練習150m、腕のかき方の練習150mを行い飛び込み練習の3回目に入った時点で本児が沈んでいるのに気づいた。病院に移送し、気管切開を行い酸素吸入等の処置がなされたが、翌日死亡した。				○	
sw049	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	中2	女	体育	プール	溺水	1、2組合同の女子の体育で、今までプールに入った時間数の足りない生徒がプールで水泳を行い、それ以外の生徒は体育館でバレーボールを行った。担当教諭は、バレーボールを指導した後、プールへ行くことにしていた。プールで水泳を行うこととなっていた本生徒は、入水して25mを泳ぎ、生徒達でリレーをしようということになり、リレーを20mぐらい泳いだ所で立ち止まり、歩いて次の泳者にタッチした。その後歩いてプールサイドの岸に着いた所で沈んだ。病院に移送され手当を受けたが間もなく死亡した。				○	
sw050	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	中3	男	体育	プール	溺水	体育の時間、プールで泳力検査が行われた。本生徒は、400mの泳力検査で、背泳ぎで200m泳ぎターン後、数m泳いだところで水中に没した。病院へ移送、心臓と呼吸機能は回復したが意識は戻らず、植物状態となり、事故から約1年後の61年8月30日午後10時55分敗血症により死亡した。				○	

sw051	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	高2	男	体育	プール	溺水	体育の時間、4時限プールで水泳指導を行った。クロールの説明を受けた後、入水順次25mを泳ぐ。プール内で再度説明の後、復路25mを泳ぐ途中、20m付近で立ち上がり、友達に笑いながら「20m位しか泳げない」と言い、顔を横向けて上眼づかいで水面に倒れ、そのうち沈み出した。病院に運ばれ入院。深昏睡の状態が続き溺水後遷延性意識障害による無言、気動、不食、不明熱、気管支炎、肝障害と診断され、治療を受けていたが、翌年の3月11日、死亡した。						○
sw052	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小1	男	体育	プール	急性心不全	体育の時間(3校時)プールで水泳指導を実施、校時の終りに近い段階で「面かぶり」の指導を行った。8人ずつ横隊となって手をつなぎ、しゃがんで顔を水につけて起こしながらプールを徒歩していたが、大方の児童がプールから上がるころ、連れていた本児が急に手を横にゆらゆらさせ、顔を仰向け気味にしたので、プールサイドに引き上げた。病院へ移送したが死亡した。	○					
sw053	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小5	男	体育	プール	急性心不全	体育の時間(3校時)プールで、水泳指導を行った。12.5mを4回、25mを2回泳いだ後、25mの記録をとることになり、本児は他の四人とともに、クロールで25mを泳ぎ切ったところで水中に沈みかけた。病院に移送、手当を受けたが、同日午後0時20分死亡した。	○					
sw054	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小6	女	体育	プール	急性心不全	体育の時間(1校時)プールの横(8m)を使い、グループ順にけ伸び、バタ足(または潜水)、クロール、平泳ぎの順に練習を進めていたが、クロールを終え、プールサイドに上がって、次の男子平泳ぎを見ていたとき、隣の児童にゆっくり倒れかかった(9時15分ごろ)。病院へ移送、手当を受けたが11時34分死亡した。	○					
sw055	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小6	男	体育	プール	心臓麻痺	体育の時間、プールで水泳を実施、7.25mを自由泳法で2回往復、10分休んで、次は15mをクロールで泳ぎ切る練習を2回した。午前11時35分ごろ泳ぎ終ってプールから上がろうとして手すりにつかまったとき発作がおき水中へ倒れかかった。病院へ搬送、治療を受けたが、午後12時15分死亡が確認された。	○					
sw056	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小6	男	水泳指導	プール	急性心不全	夏季プール指導で、午後3時から泳法の指導に入り、3時20分面かぶりクロール25mの2回目を泳ぎはじめ、12~13m(プールのほぼ中央)を泳いでいたとき、急にコースを曲がり、手足を広げ浮いた状態で動かなくなった。病院に移送し、手当を施したが、4時27分死亡した。	○					
sw057	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	中1	男	体育	プール	心筋症	体育の時間プールで水泳練習中全体共通課題として25mコースをクロールで泳いでいたとき、23mを泳いだところで立ち上がり、すぐ崩れるように沈んだ。病院に移送し治療を受けたが翌日死亡した。	○					
sw058	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	中2	男	水泳指導	プール	急性心臓病	夏休みのプール指導に参加し、約1時間30分、休憩をはさんで水泳を行った。終了後プール当番日直は、補助生徒と共にビート板等プール内外の整理に当たったが、本生徒ほか2名の3年男子生徒が自主的に手伝い、本生徒は級友とともにプール内に浮いているビート板片づけのため、背泳ぎで取りに向かったが、プールサイドから約15mのところまで突然沈んだ。病院へ移送、蘇生蘇醒を施行したが、同日死亡した。	○					
sw059	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	中3	男	体育	プール	急性心不全	体育の時間、プールで六人1チームで一人26mを泳ぐリレーを実施中、第3泳者として26mを泳ぎ切り、プールサイドに上がってから、プールのフェンスに寄りかかるようにして腰を下ろし、やがて倒れた。		○				
sw060	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	小5	男	その他	プール	小脳脳幹出血	プール学習後整理体操を行い、運動場から3階の教室まで走って行き、給食の準備のため急いで服を着替え始めた。そのとき急に頭を抱え「頭がいたい」と椅子に座りこみそのまま倒れた。		○				

sw061	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	小1	男	体育	プール	急性心不全, 溺死	体育時の水泳練習中、泳げる児童の泳力テストが終了したので、教師は泳げる児童には自由遊泳を、泳げない児童には個別指導を行っている間、本児はなんらかの理由で溺れたと考えられるが、次の授業のためにプールサイドに来た上級生が、水中に沈んでいる本児を発見、直ちに救出、応急処置を行ったが死亡した。	○				
sw062	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	小6	男	体育	プール	溺死	合同水泳授業時、学年ごとの自由泳中、本児は、2番目に飛び込んで泳いだ。他の児童が両手を前方にのぼし、顔面を水中に没して打つ伏せになって浮いている本児の異常に気づき、直ちにプールサイドに引き上げ、応急処置を施したが死亡が確認された。				○	
sw063	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	中2	男	体育	プール	溺死	体育時、水泳練習中の、25mの記録測定の後、希望者のみ再測定し、本生はこれに加わり泳ぎ始めたがゴールとともに、けいれん状態で沈みかけたため、計時中の教師が飛び込んで助け上げ、心臓マッサージ等を行い、救急車を要請し、病院へ移送、治療を施したが、その効なく死亡した。				○	
sw064	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	高2	男	体育	プール	溺死	体育時、水泳中、本生徒は、足と背中にヘルパーをつけ、教師と1対1で25mを2～3回往復したとき、プール中央付近で本生徒の手足が脱力状態になったことに教師が気づき、直ちにプールサイドにおいて、人工呼吸を行った。救急車で病院に移送、治療を受けたが死亡した。				○	
sw065	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	幼	男	体育	プール	急性肺水腫, 溺死	当日は、温水プールで水泳指導が行われた。本児は、年中組で浅い方のプールで、指導員と教師2名の指導のもとで全員ヘルパーをつけて水泳活動を行った。終了時間となり全員プールサイドに上がった。その時、園児の1人が「まだ泳いでいる子がいる」というのですぐ行ってみると本児が水没していた。直ちに引き上げ人工呼吸等を行い、救急車を要請、手当をしたが死亡した。				○	
sw066	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	小2	男	体育	プール	小脳出血	体育授業中、本児は、プールでビート板を使って水泳練習をしていたが、気分が悪いと訴えたのでプールサイドで休ませ、しばらくして、また気分が悪いということで教室で休ませた。話しかけても応答はあるが起きようとしないため保健室で休ませ、家庭とも連絡をとりハイヤーで帰宅させたが、夕方、容体が急変し、救急車で病院へ運び治療を続けたが回復せず死亡した。		○			
sw067	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	小4	男	体育	プール	急性心不全	体育授業中、プールで水泳指導を実施した。本児は、準備運動後水中歩き13m(約20秒)の後、プールから上がり、2回目、3回目は自由形を泳ぎ、元の位置にもどるさい、少し歩いてよろけ、前にのめるようにして倒れた。ただちに心臓マッサージを施し救急車で移送し、治療を受けたが死亡した。[既往症]川崎病(昭和57年、昭和59年入院治療)[解剖所見]脳浮腫、小脳扁桃ヘルニア、左冠状動脈走行異常、心臓軽度肥大(180g)、副腎萎縮、肺、肝の急性うっ血、軽度肺水腫、胸腺点状出血、脳軟膜の局所性肥厚	○				
sw068	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	小5	男	体育	プール	播腫性血管内 凝固症候群	体育の授業のさい、プールで水泳指導中、本児は、伏し浮きで13mを泳いでいたが、ゴール1m前で立ちぐっと伸び上がった。担任が手を差し伸べると、本児がつかんできたので抱き上げた。心停止が認められたので、救急車で病院に移送した。カウンターショックにより心臓は動き出したが、意識の回復はなく、十二指腸穿孔を起こして1ヵ月後死亡した。					○
sw069	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	小6	女	体育	プール	急性心不全	体育授業中、水泳指導のリレーを実施していた。本児は、第4泳者として前泳者のタッチと同時に飛び込み約23m泳いだ時、急に動きが鈍くなり前へ進まなくなった。異常に気づいた担任が、プールサイドに引き上げ、応急手当を施し、救急車で病院に搬送、手当を受けたが死亡した。	○				
sw070	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	中1	女	体育	プール	小脳出血、心 呼吸不全	体育授業中、クロールで25m泳いだ後、水遊びをしていた。本生徒は、頭痛を訴えたので、プールから上げた。整理体操に自ら参加したが再び気分不良を訴えたため、救急車を手配し、病院に移送したが、5日後死亡した。		○			

sw071	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	高1	男	体育	プール	急性心不全	体育授業(水泳指導)中、2チームのリレーの時本生徒は、第一泳者で平泳ぎを行いゴールした。その後、コースの端にいたのでプールに引き上げるため手を出し、腕をつかんだ瞬間首ががくんとした。直ちにプールからあげ、病院に運んだが死亡した。本生徒の泳力は、25m泳ぐにも数回足をついていた。なお、本生徒には、ぜん息の既往症があった。	○				
sw072	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	小3	男	体育	プール	急性心機能不全	体育水泳の授業時、準備運動、練習後、本児は10メートルの往復を自力で泳いだ。ところがゴール地点で水中に沈んでいるのを発見。応急処置を行い病院へ移送したが死亡。	○				
sw073	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	小5	男	体育	プール	溺死	体育の水泳授業時、クロールでプール横10メートルを泳いでいた本児は、5~6メートル進んだとき、伏し浮きの姿勢から徐々に右に傾き、ブクブク息を吐きながらあおむけになって沈みかけたので救助。応急処置を行い救急車で移送したが死亡。				○	
sw074	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	小6	女	体育	プール	淡水溺死	水泳大会で、メドレーリレーにアンカーの自由形で出場した本児は、25メートルのターンをしてから10メートルほどの位置で突然泳ぎが乱れ、立ち止まりロープへもたれるように倒れた。応急処置を行い病院に移送したが意識が戻らぬまま15日後に死亡。				○	
sw075	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	高3	男	体育	プール	溺死	体育の水泳の授業時、準備運動後シャワーを浴び水泳を開始。8人1班で3キロメートルを目標にリレー形式でローテーションを組み1キロメートル余りを泳いだ。本生徒は25メートルを4本ほとんど潜水泳法で泳ぎ、15分ほど休息をとり、更に潜水で25メートルを泳ぎきりターンしたのを目撃されている。全員プールから上がる指示があり本生徒が沈んでいるのを発見。応急処置を行い救急車で病院に移送したが死亡。				○	
sw076	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	小4	男	体育	プール	遺伝性QT延長症候群による急性心不全	体育の授業時、泳力テストで本児は2~3メートル泳いだところ、もがき出したので救助した。不整脈のため救急車で病院に移送したが死亡。なお、7歳時QT延長症候群と診断、定期健診では要観察だった。[解剖所見]心臓175グラム、器質的な異常は認めない	○				
sw077	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	小6	女	体育	プール	心不全	体育の水泳の授業時、面かぶりクロールの練習中、本児は15メートル付近まで泳いだとき急に動きが止まったので救助。応急処置を行い救急車で病院に移送し、一時心臓も動き出したが、翌日死亡。	○				
sw078	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	小6	女	体育	プール	心臓病[共通房室弁口、両大血管右室起始、単心房、術後]	体育水泳の授業時、準備体操、洗体槽・シャワーで水慣れ後、胸に水を浴びて入水、プールを半周歩いたところで自分でプールサイドに上り座り込んだ。ぐったりとしていたので、応急処置を行い病院へ移送したが死亡。なお、本児は心臓手術後管理区分表3D。[既往症]心房逆位、共通房室弁口、両大血管右室起始、肺動脈狭窄、単心房、多脾症 [手術歴]上記に対し手術、手術時期不詳					○
sw079	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	小6	女	体育	プール	低酸素性脳障害による肺炎	体育水泳の授業時、準備運動などののち、練習に入る。本児は平泳ぎで片道10メートルを1往復し、あとひとかきのところで伸ばした手がプール壁に届かず足がつったように浮き上がり体が急に傾いた。応急処置を行い救急車で病院へ移送するが4日後死亡。[既往症]昭和61年10月29日、縄跳び中失神発作、QT波延長症候群、次年度は水泳不参加、今年度は心臓管理指導表に従い水泳参加、肥満度32パーセント[解剖所見]1肺炎(沈下性肺炎)、[1]左右肺臓の細気管支・肺泡内の高度好中球滲出、2気管・気管支内分泌物貯溜、3肺胞壁毛細管の拡張(うっ血)ならびに水腫] 2脳の低酸素性障害、[1]著しい脳軟化ならびに脳腫脹、2)脳神経細胞のび慢性の虚血性変化] 3心筋の低酸素性障害、[1]心筋の凝固壊死、2)心筋の収縮性壊死] 4肝臓の低酸素障害 5その他の所見[1]心臓刺激伝導系に形態的に明らかな異常なし、2)溺水の所見は不明、3)腎近位尿管上皮の壊死]				○	

sw080	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	中2	男	体育	プール	急性心不全, その原因心呼 吸停止,その 原因不詳 [Romano-Ward 症候群の疑]	体育の授業時, 25メートルをクロールで泳いでいて, 23メートルを泳いだところで突然沈みかけたのを隣コースを泳いでいた生徒が発見助け起こし, 教諭が引き上げたが, 身体硬直, けいれん, 舌をかみ, 口から泡を出していたので応急処置を行い救急車で病院へ移送し, 心臓, 呼吸ともに動き始めたが意識不明のまま15日後に死亡。	○				
sw081	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	高1	女	体育	プール	急性心不全, その原因QT延 長症候群]	体育の授業時, 全員が準備運動の後プールに入り水泳中, 突然, 生徒の呼び声があったので教師が振り向くと, スタートから18~20メートルのところまで本生徒が級友に抱えられていた。プールサイドに上げたが意識がなく, 救急車で病院へ運び蘇生術を施したが死亡した。[既往症]QT延長症候群, 心臓病管理指導表2(要予防内服)D, [付記]「特に運動時に心室性頻拍症が誘発されると意識消失を起こす可能性がありますので, 激しい運動は禁止します。」中学3年2学期, 発作を起こし心室頻拍症と診断された	○				
sw082	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	高2	男	体育	プール	心室細動	体育水泳の授業時, 25メートルを3回泳いだのちプールサイドで座って休んでいたさい, 急にあおむけに倒れ意識を失い呼吸心拍ともに停止。応急処置を行い救急車で病院へ移送したが12日後に死亡。[既往症]15歳時, WPW症候群, 心臓病管理指導表3E	○				
sw083	平成3 (1991)	平成1 (1989)	小1	男	体育	プール	溺死	体育の水泳の授業中, 健康観察, 準備体操等を行い1回目の入水。水中歩行, 潜る, 伏し浮き, 壁伝い歩きなどを行い7分後に上がり人員が確認された。2回目の入水を10分間, 更に3回の入水をし, 担任は水の苦手な児童を小プールで指導, 終了のチャイムで全員上がるように指示し・プールの中に残っている児童がいなことを確認。シャワーのほうへ進んだとき・他クラスの児童が水面下10cmくらいのところであつづぶせになっている本児を発見。直ちにプールサイドで駆けつけた教師がマウス・トウ・マウスを交代で行い, 救急車で病院へ移送したが死亡した。					○
sw084	平成3 (1991)	平成1 (1989)	小2	男	体育	プール	溺水	体育の水泳の授業で, 複数の指導者をつけることが原則であったが, 事情があつて単独で行われた。検定を行う前に水深98~117cmの高学年用プールを体験させ, その後検定を行った。途中, 降雨で児童をテント内に集めたが, すぐやんだので再び高学年用プールに入れ, 5分後にプールから出るように指示したところ, 本児が顔を上に向け浮いていたので異常を感じた担任教諭がプールに飛び込み救助。水を吐かせ, 人工呼吸, 心臓マッサージを行い, 救急車で病院へ移送したが死亡した。					○
sw085	平成3 (1991)	平成1 (1989)	小4	男	体育	プール	溺水	体育の水泳の授業中, 準備体操などを行い入水。プールの壁に沿って水中を歩きプールサイドに上がった。次に幅12mを泳ぎ, 終わった者は上がって座り全員が確認された。もう一度泳いで上がったが本児がいなので捜したところ, 水中に沈んでいたので引き上げ人工呼吸を行い病院へ移送したが死亡した。					○
sw086	平成3 (1991)	平成1 (1989)	小5	男	体育	プール	溺水	体育の水泳の授業中, 能力別指導で中級者の部に入っていた本児は, 準備運動, 水慣れの後, 25mの流し泳ぎの2回目の途中で溺れた。人工呼吸, 心臓マッサージを行い, 救急車で病院へ移送したが死亡した。					○
sw087	平成3 (1991)	平成1 (1989)	中2	男	体育	プール	溺水	体育の授業で泳力テスト中, クロールで20mほど泳いだ地点で沈んでいる本生徒を, 指導中の教師と後から泳いできた生徒3名が発見し, すぐ引き上げた。他の体育教師とともに心臓マッサージと人工呼吸を行い, 救急車で病院へ移送したが死亡した。					○
sw088	平成3 (1991)	平成1 (1989)	中2	男	体育	プール	溺水後無酸性 脳死による腎 不全	合同体育授業で水泳指導が行われた。本生徒は泳げないグループに入っており, 教師がビート板を使って泳いでいる者を指導して戻ってみると, プール底に沈んでいた。人工呼吸を行い救急車で病院へ移送後, 更に転医。以来11か月半, 植物人間として治療を受けたが死亡した。					○

sw089	平成3 (1991)	平成1 (1989)	中3	男	体育	プール	急性心不全 (頸髄損傷)	体育の水泳の授業中、スタート台から飛び込んだときにプールの底で頭を打ったものと思われる。救急車で市立病院に運び、診察後転医、頸椎脱臼、脊髄損傷と診断され四肢まひがあった。その後治療を重ねたが、3か月後死亡した。			○		
sw090	平成3 (1991)	平成1 (1989)	中3	男	学校行事	海	溺死	臨海学校で、参加者38名が10グループに分かれ、各グループごとに遊泳中、溺れている本生徒をグループの生徒が発見。引率の教師に連絡したが救助できず、すぐに引率教師と泳げる生徒10名ほどで捜索したが発見できなかったため、生徒を砂浜に上げ、警察と教師で再び捜索し、約33分後に発見。待機していた救急車で病院へ運ばれ手当てを受けたが脳死状態となり、48日後に死亡した。				○	
sw091	平成3 (1991)	平成1 (1989)	高3	男	体育	プール	頸髄損傷による肺梗塞	体育の水泳の授業中、ウォーミングアップのため飛び込んださい、プール底で腕、頭部を打ち、コースロープにつかまり助けを呼んだ。プールサイドに上げようとしたが両足が動かないとのことだった。直ちに救急車により病院へ移送。頸髄損傷、第7頸椎椎体骨折によりICUに入院、治療を行ったが23日後に死亡した。			○		
sw092	平成3 (1991)	平成1 (1989)	小4	男	体育	プール	急性心不全	体育の水泳の授業中、健康観察、準備運動の後、入水してバタ足、呼吸法の練習を行ってから幅9mのプールを10回ほどクロールで泳ぎ、5分休憩した後一息でどこまで泳げるかの練習に入った。本児は14mぐらいのところまで立った直後、潜るような格好で沈んでいったので、担任がすぐ飛び込み抱き上げ、心臓マッサージとマウス・トゥ・マウスを行い、救急車で病院に移送したが死亡した。	○				
sw093	平成3 (1991)	平成1 (1989)	小4	女	体育	プール	脳梗塞	体育の水泳の授業中、準備運動の後、面かぶりクロールの練習を行った。本児はスタートして5mくらい泳いだところで、泳ぎが曲がりかけたのでプールサイドに抱きかかえて上げ様子を確認して保健室へ抱いて連れて行き、着替えを行い校医に連絡。養護教諭が背負い、校医に行き受診した。血圧、脈、体温には異常が認められず、両親が来院するまで安静にしていた。3歳ごろに起こした低血糖の症状に似ていたため、そのとき受診した病院に転医。脳梗塞と診断され、脳神経外科に入院。5日間、熱が上下、意識ももうろうとして過ごしたが死亡した。			○		
sw094	平成3 (1991)	平成1 (1989)	小4	女	体育	プール	急性心不全	体育の水泳の授業中、能力別グループ編成のための泳力調査を行いグループ分けを行った後、本児のグループは10mを3往復した。そのとき、本児はあおむけになり苦しそうにしていたので、プールサイドに上げ人工呼吸を行い、救急車で病院に移送したが死亡した。	○				
sw095	平成3 (1991)	平成1 (1989)	中2	男	体育	プール	急性心不全	体育の水泳の授業で、健康チェック、準備体操、水慣れ、ウォーミングアップなどをじゅうぶんに行った後、200mまでの距離をどのくらい泳げるかという泳力テストを実施。本生徒は20m付近まで泳ぐと突然手足の動きが鈍り、沈みそうになったので指導教諭が飛び込み抱き上げ人工呼吸等を行い、救急車で病院に移送したが死亡した。	○				
sw096	平成3 (1991)	平成1 (1989)	中3	男	体育	プール	突然死	体育の水泳の授業中、準備運動、補強運動を行った後、クロール、平泳ぎ、背泳を各25m泳いだ後に、本時の重点である背泳についての留意点を説明、模範泳法を見せた後で、背泳で25m泳ぐ練習に入った。本生徒は10mまでなんの異常もなくやや速いピッチで泳いでいたが、ゴール直前で左腕をコースロープに掛けて浮いてしまい、異常を感じた教師と生徒で引き上げた。心音を確認し人工呼吸と心臓マッサージを行い、救急車で病院に運んだが死亡した。	○				
sw097	平成4 (1992)	平成2 (1990)	小1	女	学校行事	川	溺水	1、4、5、6年生の川遊びの学級活動で、準備体操後、担任とともに指示された範囲で泳いでいた。そのうち、5、6年生が1年生の手を持ってバタ足、胴を持って浮かして泳がしていた。しばらくして指示範囲より下流で沈んでいた本児を発見川原へ上げ人工呼吸、心臓マッサージを行い救急車で病院に移送したが翌日死亡した。				○	

sw098	平成4 (1992)	平成2 (1990)	小5	女	水泳指導	プール	溺水による呼吸不全	夏季休業中の課外指導としての水泳指導中、準備運動後、水慣れを行い、スタートの仕方について説明、慣らし泳ぎを始めた。約5分後、溺れている本児を発見、プールサイドに上げ、人工呼吸、心臓マッサージを行い救急車で病院に運んだが死亡した。						○	
sw099	平成4 (1992)	平成2 (1990)	保	男	体育	プール	溺水による心不全	園庭でプラスチック製のタライを並べ水遊びをした後、全園児の体を清拭中、本児の姿がなく捜したところ、約11メートル離れた園庭内のプールにうつぶせになって浮いているのを発見し、人工呼吸をして救急車で病院に移送したが、昏睡状態が続き約2か月後に死亡した。						○	
sw100	平成4 (1992)	平成2 (1990)	小2	男	水泳指導	プール	急性心不全	夏休みの水泳特別訓練で、準備運動、水浴びのあと、10メートルを泳がせた。本児は12.5メートルほど泳いだとき、教師が「もういい」と声を掛けたが、半身の状態になったので異常を感じ、プールサイドに上げ人工呼吸を行い、救急車で病院に移送し更に転医したがすでに死亡していた。〔解剖所見〕心臓卵円孔開存、肝臓脂肪変性、肺気腫	○						
sw101	平成4 (1992)	平成2 (1990)	小4	男	体育	プール	急性心不全	体育の水泳の授業時、準備運動後シャワーを浴び、プールに入った。水中での歩行、ゲーム、バタ足運動を行いプールサイドに上がった。25メートルを泳ぐ上での注意を受け、無理をしないように25メートルを2回泳いだ。プールサイドで座って待機していたところ、突然うずくまるように倒れた。意識不明であり、人工呼吸など応急処置を行い、救急車で病院へ運ぶが死亡した。〔既往症〕前年の定期健康診断で心雑音、本年の健康診断では異常なし。	○						
sw102	平成4 (1992)	平成2 (1990)	高2	男	体育	プール	急性心不全	体育の水泳の授業時、準備運動、水慣れ、飛び込みの練習の後、25メートルを2回泳ぎ終わり立った直後、水中に枕んだ。すぐに引き上げ、人工呼吸、心臓マッサージを行い、到着した救急隊員に引継ぎ、病院に移送するが死亡した。	○						
sw103	平成5 (1993)	平成3 (1991)	小1	男	水泳指導	プール	溺水	いったん下校した後、自由プール(課外指導)に参加した本児は、準備体操後入水し、犬かきのような格好で浮いたり沈んだりしているうちに沈んでしまった。周囲の児童が異常に気づき監視の教師に知らせ、保健室に運び人工呼吸等を行い、救急車で病院に移送したが死亡した。						○	
sw104	平成5 (1993)	平成3 (1991)	小2	男	体育	プール	溺水	体育の水泳の授業で、自由時間にプールに浮いている本児を指導教諭が発見し引き上げ、人工呼吸をするとともに、救急車で病院へ移送したが死亡した。						○	
sw105	平成5 (1993)	平成3 (1991)	小4	男	体育	プール	窒息	水泳の授業中、準備体操の後5名の生徒のうち1名を気分不良のため見学させ、3名と本児とに分け各1名の担任が指導に当たった。本児の指導中、見学児童がぐったりとしたので、3名を指導中の担任に頼み、見学児童を保健室に連れて行った。その際他のクラスの担任が、プールの門の開閉をして戻ったところ本児が浮いていたので、引き上げ心停止のため、心臓マッサージを行い、救急車を呼んだが、手遅れであった。						○	
sw106	平成5 (1993)	平成3 (1991)	中1	女	水泳指導	プール	溺水による肺水腫	夏期休業中のプール指導中、本生徒は、泳いでいるうち自分のプールキャップが無いのに気づき、潜りながら捜していた。次を泳いでいる生徒が、本生徒の異常に気づき、手を引っ張ると仰向けに浮いた。プールサイドに引き上げ、人工呼吸、心臓マッサージを行うとともに救急車で診療所へ運んだ。しかし、危険な状態のため転医したが、死亡した。						○	
sw107	平成5 (1993)	平成3 (1991)	中3	男	体育	プール	溺水	体育の水泳の授業での泳力調査の途中、本生徒はコースロープに仰向けに寄りかかっていたが、そのうち1コースへ歩き始めた。コースロープを頭からくぐるように潜ったが、浮上してこないの、引き上げ、心肺蘇生法を行い、救急車で病院へ移送したが死亡した。〔参考〕本生徒は、前の月に2回意識不明になっているが、いずれも検査の結果、異状がなく、水泳参加は保護者の同意を得ていた。						○	

sw116	平成6 (1994)	平成4 (1992)	中2	男	体育	プール	溺死	体育の水泳の授業時、プールで1グループ3~4人で7グループにわかれ25メートルを2回泳ぐ予定で行った。本時は、水泳検定を目標に軽めに泳がせる予定であった。本生徒は、1回目25メートルをクロールで泳ぎ、2回目を完泳後、立ち上がろうとしたがふらふらの状態でうつ伏せに倒れた。プールサイドに引き上げ人工呼吸を行い、救急車で病院へ移送したが死亡した。						○
sw117	平成6 (1994)	平成4 (1992)	高3	男	体育	プール	溺死	体育の水泳の授業時、準備運動後プールに入水、25メートルを泳いだ後、50メートルの計測に入った。本生徒は、クロールで泳ぎ40メートルを泳いだところで、突然あおむけに浮き上がり手足をばたつかせた。教師が飛び込み抱き上げてプールサイドで応急処置を行い救急車で病院へ移送したが死亡した。						○
sw118	平成6 (1994)	平成4 (1992)	中1	男	学校行事	海	溺死	臨海学校で3000メートル遠泳を実施した。本生徒が遅れ始めたので、その地点から隊列の外に出し、水泳師範が共に泳ぎ舟上からは監視と激励を続けたが、浮き身による3度目の休息から数分後4度目の浮き身を行ったとき、顔に水が掛かり背泳ぎするように腕を上げた後、水面にくるりとうつ伏せになったので舟に引き上げた。出発点から800~900メートルの地点であった。人工呼吸を行い病院に移送したが9日後に死亡した。						○
sw119	平成6 (1994)	平成4 (1992)	中2	男	体育	プール	急性心不全、 心筋症疑	体育の水泳の授業時、準備運動後、水慣れを行い、能力別コース確認のためプールの中で集合させたところ、本生徒のバディが異常を報告した。本生徒はコースロープに背をもたれ目をつぶって硬直しているように見えた。プールから引き上げ、人工呼吸を行い救急車で病院へ移送したが死亡した。					○	
sw120	平成6 (1994)	平成4 (1992)	中2	女	体育	プール	急性心不全	体育の水泳の授業時、クロールで25メートル泳げるかのテストをプールで行った。本生徒は19メートル付近で立ってしまい教師の言葉にもうなずきながら1~2歩歩いて帽子を取った。残りの生徒を泳がせていると、本生徒が上を向いて顔と手は水面から出ていたが、手はけいれんを起こし、立った状態であった。					○	
sw121	平成6 (1994)	平成4 (1992)	高1	女	体育	プール	急性心不全	体育の補充授業(水泳)時、準備体操、ウォーミングアップ、そして計測のための練習後、平泳ぎ(50メートル)の計測を行った。完泳直後、本生徒に異常が発生し、ただちにプールサイドに引き上げ、人工呼吸と心臓マッサージを行い、救急車で病院へ移送したが死亡した。					○	
sw122	平成7 (1995)	平成5 (1993)	中3	男	体育	プール	気管切開創出 欠、その原因： 頸椎損傷	体育の水泳の授業中、本生徒は、飛び込みをされていてプールの底で頭を打ち動けなくなった。意識ははっきりしていたが、両腕、両足は動かず、呼吸もやや苦しそうだ。救急車で病院へ移送したが18日後に死亡した。					○	
sw123	平成7 (1995)	平成5 (1993)	幼	男	体育	プール	無酸素性脳障 害、その原因： 溺水の吸引	夏季休業中の登園日のプール指導中、本児が深いプールにうつぶせに浮いていたので引き上げたところ、口と鼻から水を吹いた。応急処置を行い救急車で病院へ移送したが、脳死状態となり1か月後に死亡した。 [解剖所見]高度の脳腫脹及び軟化融解					○	
sw124	平成7 (1995)	平成5 (1993)	小5	男	体育	プール	急性心停止	体育の授業時、水泳指導中、水慣れなどを行った後、タイム測定を行った。希望者により、50メートルのクロール、平泳ぎの測定を行ったが、本児は両方に参加し、平泳ぎをされていて突然動かなくなったので引き上げ、救急処置を行い救急車で病院へ移送したが1時間後に死亡した。					○	
sw125	平成7 (1995)	平成5 (1993)	中1	男	体育	プール	急性心臓病	体育の授業(水泳)時、本生徒は、ビート板を使用しバタ足をしていて、20メートル程泳いだ時点で、突然ビート板を離して沈みだした。すぐに引き上げ救急処置を行い救急車で病院へ移送、蘇生法が行われたが死亡した。					○	
sw126	平成7 (1995)	平成5 (1993)	中2	女	体育	プール	急性心不全	体育の授業(プール水泳)時、本生徒は、準備運動、水慣れなどを行った後、練習をしていて泳ぎ終えたとき、上向きに浮き身の状態となった。ただちに引き上げ、救急車で病院へ移送したが死亡した。					○	

sw127	平成7 (1995)	平成5 (1993)	小1	男	体育	プール	心室細動, その原因: 特発性心筋症	体育の授業(水泳)時, 準備運動, 水慣れの後, 便所に行った本児は腰洗い場で倒れた。救急処置を行い救急車で病院へ移送し治療を受けたが, 5時間後に死亡した。 〔既往症〕洞不全症候群でペースメーカーを植え込んでいる。心臓病管理指導表1(要医療)E(鉄棒のみ禁)	○				
sw128	平成8 (1996)	平成6 (1994)	小4	女	体育	プール	溺死	体育授業(プールでの水泳指導)時, 準備体操等の後の二人一組でのクロールの練習中, プールサイドの児童が本児の異常に気づき声をあげた。本児は, プールサイドに手を掛け顔を横に向けていて, 声をかけても返事がないためプールサイドに引き上げたが, 呼吸も反応もなかった。すぐ蘇生法を行い, 救急車で診療所へ運び手当をしたが死亡した。					○
sw129	平成8 (1996)	平成6 (1994)	小5	女	体育	プール	溺水	体育の授業(合同体育)として, 町営プールで水泳検定が行われた。本児は, 3級(得意な泳法で50メートルを泳ぐ)を平泳ぎで受検中, 25メートルを折り返し, プールのほぼ中央のところまできてスピードが落ち, 背泳ぎのような状態になった。教師が異常を感じて救出し, 救急車で病院へ運んだが, 約2時間後に死亡した。					○
sw130	平成8 (1996)	平成6 (1994)	中1	男	水泳指導	プール	溺水	夏休み中の水泳指導(課外指導)中, 本生徒は, 入水直後, 循環排水口に足をとられた。もがいているのに友達が気づき, 体を引っ張ったが足が抜けず, 教師等が給水栓を締め循環ポンプの電源を切っても足は抜けなかった。駆けつけた救急隊員が酸素ポンプの酸素を排水口に注入して救出, 病院へ収容して手当を加えたが, 3時間半後死亡した。					○
sw131	平成8 (1996)	平成6 (1994)	中2	男	体育	プール	広範性肺出血	体育授業中, プールで水泳をしているとき, 本生徒は, クロールで25メートルを泳ぎ終えた直後に沈みだした。教師と周りにいた生徒で引き上げ, 人工呼吸を行ったが, 約10分後に死亡した。					○
sw132	平成8 (1996)	平成6 (1994)	中3	男	体育	プール	蘇生後脳症	体育の水泳授業中, 生徒たちは準備運動後, 教師の指示で練習を始めた。泳ぎ出して間もなく隣を泳いでいた生徒が本生徒の異常に気づき, 本生徒に声をかけ, 手に触れると仰向けになり, 目と口が開いていた。すぐコースロープに上げ, 教師に連絡, 救急車で病院へ運び治療により一時快方に向かったが, 約2か月半後に容態が変わり死亡した。					○
sw133	平成8 (1996)	平成6 (1994)	高2	男	体育	プール	急性呼吸不全	体育授業中, 本生徒は, クロールで50メートルを泳ぐため, スタートで飛び込みをしたとき, プールの底で前頭頂部を打った。その衝撃で頸椎を負傷したものと思われるが, 足が動かなくなり, 水中でもがいているところを教師等によって, プールサイドに引き上げられ, 病院で治療を受けたが23日後に死亡した。	○				
sw134	平成8 (1996)	平成6 (1994)	小1	男	体育	川	急性心不全	体育授業で行われた水遊びを終え, 1年生が全員教室へ戻った。担任教師が保健室で着替えている最中に, 本児は, 着替え中の級友には何も告げず, 1人で教室を出ていった。教室へ戻った教師は, 本児の姿が見えないのに気づき, 職員室へ通報, ほぼ全職員で学校付近や通学路を捜したが発見できず, 警察や消防に要請した結果, 本児の不在が発見されてから約4時間後, 川で遺体となって発見された。本児は, 何らかの理由で川に戻り, 事故に遭ったものと思われる。	○				
sw135	平成8 (1996)	平成6 (1994)	小6	男	水泳指導	プール	急性心不全	課外指導時, プールでの水泳強化練習で, 準備運動, 50メートル, 25メートルの遊泳後, 休憩を挟んでリレーの練習を行った。本児は第2泳者で, 平泳ぎでスタートし20メートル泳いだところで両腕を顔から上げ, 異常な状態となった。これを児童が発見し, 教師がプールサイドに抱き上げ, 救急処置を行い, 救急車を手配して病院へ移送, 手当を受けたが約5時間後に死亡した。	○				

sw136	平成8 (1996)	平成6 (1994)	中3	男	体育	プール	急性心筋梗塞 の疑い	体育授業(水泳)時、準備運動、シャワー浴び等をし、プールでビート板を使って25メートルを2回泳いだ後、本生徒は、自分で選んだクロール泳法で2回泳いだ。その後、プールから上がって出発点へ戻ろうとし、3~4メートル歩いたところで膝をついて前方に倒れた。直ちに救急車を手配、病院で治療を受けたが、約2時間後に死亡した。	○				
sw137	平成8 (1996)	平成6 (1994)	高1	男	体育	プール	急性心不全	体育授業(プールでの水泳指導)時、準備体操、シャワーのあとプールに入り、各自、自由泳をした。本生徒は、潜水で約15メートル泳いで浮上し、プールサイドに寄り掛かるようにしていた。この状態の本生徒に他生徒が肩をたたいて声をかけると、返事がなく、崩れるように水中に沈みかけた。直ちにプールから引き上げ、救急処置をしながら救急車を手配、病院へ収容して手当をしたが、約4時間後、死亡と診断された。	○				
sw138	平成8 (1996)	平成6 (1994)	高2	女	体育	プール	不整脈	体育授業(プールでの水泳指導)時、水慣れ後、各自それぞれの泳法で約25分間練習し、整理運動後、更衣をした。本生徒は、更衣後教室へ戻る途中、プールから15メートルほど歩いたところで前かがみに倒れた。生徒の通報で教師が保健室へ運び、心肺蘇生法を行うとともに救急車を手配、病院へ運んで治療が行われたが、翌日早朝死亡した。 [解剖所見]左室肥大 [既往症]高1年時心電図、非特異的STT、精検後異常なし					○
sw139	平成8 (1996)	平成6 (1994)	高3	男	体育	プール	急性心不全	体育授業(プールでの水泳テスト)時、本生徒は、25メートルのテストに参加し、約20メートル泳いだところで立ち上がり、やがて右側に倒れた。すぐ立たないので近くの生徒に指示してプールサイドに寄せ、抱え上げて水を吐かせようとしたが吐かず、プールぎわに寝かせ応急手当をしながら救急車を手配、病院で治療をしたが2日後死亡した。[解剖所見]心拡大、心筋異常[既往症]1か月前、リレー中、100メートルほど走って意識を失い倒れたが、水泳前の検査では心電図、CT、脳波等異常はなかった。	○				
sw140	平成9 (1997)	平成7 (1995)	小2	男	体育	プール	溺水	体育の水泳授業時、本児は各自での練習後の発表会で、25メートルに挑み12.5メートルで立ち上がったので担任が声をかけ確認し、そこでチャイムが鳴ったので授業を終了した。担任がプールを出ようとした際、本児とバディを組んでいた生徒が、まだ小プールで遊んでおり、本児の事を尋ねたところ既に戻ったとのことだったが、バスタオルと靴が残っているのに気付くプールを捜し水中に沈んでいるのを発見し、心肺蘇生法を行い救急車で病院に搬送したが約11時間後に死亡した。					○
sw141	平成9 (1997)	平成7 (1995)	小2	女	水泳指導	プール	心室頻拍のため心室細動による溺水死	夏休み水泳指導時、顔をつけてのビート板遊びで18メートル進んだところでビート板から手を放し沈みかけたのでプールサイドに引き上げ、救急処置を行い救急車で病院に搬送したが、7時間後死亡した。 [既往症]先天性心室頻拍症					○
sw142	平成9 (1997)	平成7 (1995)	小6	男	水泳指導	プール	溺死	夏休み水泳指導時、本児は、プールで友人3名と浄化用排水溝のふたを開けて遊んでいるうちに姿が見えなくなり、友人が排水溝に引き込まれている本児を発見し、5・6年生の2名で引き上げようとしたができず、監視の教師に連絡し教師が引き上げようとしたが吸引力が強く出来なかった。更に連絡で職員室より駆けつけた教師らが引き上げようとしたが無理であった。濾過機の電源を切ることで引き上げる事ができ養護教諭を中心に心肺蘇生法を行い救急車で医院に搬送、更に医師が付き添い病院へ転院されたが死亡した。					○

sw143	平成9 (1997)	平成7 (1995)	中3	女	体育	プール	窒息(溺水の吸引による)	体育の水泳授業時、シャワーを浴び、準備運動、水慣れの後、け伸びばた足、クロールを終え5分ほど休憩をした。その後潜水を終え、プールサイドで座って待機中、本生徒は、仰向けに倒れ、過呼吸のような症状で呼吸が苦しそうだったので、2名の教師で保健室に運び、途中で出会った校長に救急車の手配を依頼した。保健室ではマウストゥマウスを施し身体摩擦を行い、救急車で病院に搬送したが、約1時間後に死亡した。						○
sw144	平成9 (1997)	平成7 (1995)	高2	男	体育	プール	低酸素脳症	体育の水泳授業時、体操、補強運動、サーキットトレーニングを行い、腰洗い、シャワーを浴びて、ゆっくりと50メートル泳いだ後、説明を受け、飛び込んで25メートルをクロールで泳ぎスタート台の取っ手につかまろうとしたが、本生徒は、意識を失って水中に沈んだ。直ちにプールサイドに引き上げ人工呼吸・心臓マッサージを行い、救急車で病院に搬送し、一時は自力で心臓が動き、呼吸が出来るようになり、期待が持たれたが、事故発生より9日後に死亡した。						○
sw145	平成9 (1997)	平成7 (1995)	小5	女	体育	プール	急性心機能不全	体育授業(水泳)時、プールで能力別グループによるクロールの練習をしていた。本児は、25メートル2本を泳ぎきり、3本目の20メートル付近でうつ伏せに浮いているところを発見された。直ぐに心肺蘇生法を行い、救急車で病院に搬送したが、約20分後に死亡した。 〔解剖所見〕外部所見(略)内部所見①両肺無気肺状で萎縮 重さ左肺360グラム、右肺200グラム、胸腔内に空洞広く認む。なお、顔面より胸部の皮下に気腫を認め、圧縮にて著明に触知 ②血液暗赤色流動性 ③脳の血管網は充盈 ④胸腺被膜下・心外膜下・両腎盂粘膜に溢血点。また、喉頭・気道粘膜に溢血点 ⑤気道粘膜の血管網は充盈 ⑥肺漿膜下に溢血点 ⑦胃には濃緑色粘調液 ⑧膀胱空虚 ⑨各臓器うっ血、疾病は肉眼的に認められず、重さ、脳1,590グラム、心臓230グラム、肝臓1,400グラム、脾臓180グラム、膵臓90グラム、左腎臓150グラム、右腎臓130グラム、胸腺70グラム、左右副腎15グラム ⑩心臓マッサージにより胸骨骨折を認む					○	
sw146	平成9 (1997)	平成7 (1995)	高1	男	体育	プール	心疾患の疑い	体育授業(プールで水泳)時、クロールで25メートルをゆっくり4本泳いだ後、休憩し、その後、クロール50メートルの泳力テストを行った。本生徒は、テスト終了後、背中の痛みと息苦しさを教師に申し出たのでプールサイドで休ませ、更衣させ、保健室で様子を見たが、症状が変わらないため病院に搬送し治療を受けさせたが3時間15分後死亡した。					○	
sw147	平成10 (1998)	平成8 (1996)	小5	男	水泳大会	プール	溺死	他校プールでの市内水泳大会時、競技前のウォーミングアップをしていた時、本児は泳ぎだして20メートルで間隔が詰まっていたので立ったが、A教諭に注意され、また泳ぎ始めた。A教諭は後続の児童の様子を見たり声を掛けたりしていたが、しばらくして下を見ると本児が壁際の水の中で上向きになっていた。直ぐに腕を引き上げ、顧問教諭とともにプールサイドに引き上げて仰向けにした。意識がなく呼吸、脈を感じなかったため競技役員と養護教諭で心肺蘇生を行い救急車で病院へ搬送し治療したが、2時間後に死亡した。					○	
sw148	平成10 (1998)	平成8 (1996)	中1	男	体育	プール	溺水による急性クモ膜下出血	体育授業時の屋内温水プールで今年度最初の水泳指導時、準備体操とばた足練習後に泳力での班分けを行った。本生徒は泳力確認の12メートルほどを何の支障もなく泳いだ。その直後にプール内に沈みかけた。近くで指導していた体育教師が異常に気が付き、プールサイドへ救助し養護教諭とともに心肺蘇生を行い救急車で病院へ搬送したが意識不明の重体だった。その後も意識は戻らなかったが自呼吸も十分行うほど回復した。検査でも脳に異常は見られなかったが容態が急変し1か月後に死亡した。					○	
sw149	平成10 (1998)	平成8 (1996)	中3	男	体育	プール	窒息	体育授業の水泳指導で25メートルリレーをしていた時、本生徒は第2泳者で泳ぎきり第3泳者が出発した。第5泳者がプールの中に入り本人にあがるように声をかけたが本生徒は様子がおかしく下向きに硬直し浮いていた。					○	

sw150	平成10 (1998)	平成8 (1996)	中3	女	体育	プール	溺死	体育授業の水泳指導時、クロールのテストで25メートルを泳ぎきったところでけいれんを起こし意識をなくした。すぐにプールから引き上げ応急措置をして救急車で病院へ搬送後、治療をしたが3時間後に死亡した。				○	
sw151	平成10 (1998)	平成8 (1996)	高1	男	体育	プール	溺死	体育授業の水泳指導時、準備体操後、各自の能力に応じてクロールの練習をするためプールに入り泳ぎ始めたが、ゴール手前5メートル付近で顔を伏せて浮かんでいるところを他の生徒に発見されプールサイドに引き上げられた。生徒が意識不明で呼吸と脈拍を確認できないので養護教諭も加わり救急処置を行い、救急車で病院へ搬送し手当てを受けたが蘇生することなく約1時間後に死亡した。				○	
sw152	平成10 (1998)	平成8 (1996)	小6	男	体育	プール	脳室内出血	体育授業の水泳指導終了後、教室に変える途中で頭痛を訴えて、更衣後に保健室に来室した数分後、突然容態が急変し激痛とおう吐、意識の混濁が10分ほどあり、左腕の硬直状態から全身けいれんを起こして意識不明となり、救急車で病院へ搬送したが死亡した。		○			
sw153	平成10 (1998)	平成8 (1996)	高2	男	体育	プール	脳動脈破裂によるクモ膜下出血、その原因 溺水	体育授業の水泳指導時、準備運動をして平泳ぎで25メートルを2回泳ぎ、50メートル平泳ぎのタイム測定を行った。生徒はけ伸びでスタートし泳いでいたが、25メートル付近で急に沈みだしたので、プールサイドに引き上げ心肺蘇生を開始するとともに、救急車を要請した。病院へ搬送後心臓は自力で動いていたが、CT検査を行い、脳動脈破裂によるクモ膜下出血があり、脳死状態であると診断され、治療を行ったが翌日の昼頃に死亡した。				○	
sw154	平成11 (1999)	平成9 (1997)	小1	男	水泳指導	プール	溺水	夏季休業中のプール指導時、本児は準備運動の後、ビート板を使い泳いでいた。「上がれ」の合図で他の児童が上がった際に本児がうつ伏せに浮いているところを発見された。直ちにプールサイドに引き上げ、心肺蘇生法を行ったところ大量の水を吐いた。救急車で病院へ搬送され治療が行われたが意識は戻らず、3日後に死亡した。				○	
sw155	平成11 (1999)	平成9 (1997)	中1	女	体育	プール	溺死	体育授業の水泳時、生徒は、準備運動、ばた足の練習後クロールで25メートルを泳ぎ、2回目を泳ぎきったところで立ち上がり、ぼんやりしている様子だったが仰向けに浮いている状態になり、異常に気付いた教諭がプールサイドに引き上げたが全身けいれんを起こしており、呼び掛けにも反応がないので人工呼吸、心臓マッサージを行った。病院の集中治療室で治療を受けていたが、2日後に死亡した。				○	
sw156	平成11 (1999)	平成9 (1997)	小6	男	体育	プール	多臓器不全	体育授業の水泳指導時、準備運動後にばた足を行ったが本児はほとんど泳げなかったため水中を歩いていた。5分休憩した後自由泳となり、友人と遊んだりしていたが、授業終了間際にプールサイドで左鎖骨付近が痛いとうずくまっているのを担任が発見し、着替え終ってから母親に連絡し、専門医にかかるように依頼した。診察を受けた後、夜になって救急車で病院へ搬送され手術を受けたが35日後に死亡した。					○
sw157	平成11 (1999)	平成9 (1997)	中2	男	体育	プール	くも膜下出血	体育授業時、準備運動、水慣運動等を実施後、全員プールサイドに整列してからタイム測定を行ったが、生徒は約20メートル泳いだとき、左手が水中に入ったまま沈みかけたので指導教諭が飛び込み引き上げた。すぐに心肺蘇生法を実施し、救急車で病院へ搬送したが、47日後に死亡した。		○			
sw158	平成12 (2000)	平成10 (1998)	中1	女	学校行事	海	低酸素脳症	臨海学校時、遠泳が行われた。準備体操を行った後、泳ぎ始めて13分後、2列縦隊の前から2番目の右側で泳いでいた本児は、急に隊列から左に向かって泳ぎだした。列と列の中央辺りでしばらく泳いでいたが、背泳ぎを始め、その直後、海の中に沈み始めた。そばにいた指導員がすぐに身体を持ち上げボートに救出したが、意識がはっきりしなかった。ライフガードおよび救急車を要請し、浜で待機していたライフガードが蘇生を行ったが意識は戻らず、救急車で搬送し治療を受けたが、6日後に死亡した。		○			

sw159	平成12 (2000)	平成10 (1998)	中2	男	体育	プール	溺水	体育授業時、プールで水泳指導中、準備体操等の後、50メートル計測を行った。その後フリー練習の際、友人と水中鬼ごっこのようなことをしていた。再び50メートル計測した行われたところ、1コースと2コースの間のコース中央付近で、横向きに沈んでいる本生徒を発見した。すぐにプールから引き上げ人工呼吸および心臓マッサージを行ったが、意識が回復しなかったため、救急車で病院に搬送したが、1時間後に死亡した。					○
sw160	平成12 (2000)	平成10 (1998)	高2	女	体育	プール	溺水	体育授業時、プールで水泳指導中、準備運動の後、本生徒はクロールと平泳ぎを、それぞれ75メートル計測し、その後、潜水の練習を行った。授業終了直後に8～9コースの中間地点でうつ伏せの状態に沈んでいるところを発見された。救急車で病院に搬送し心配停止状態から蘇生したが、7日後に死亡した。					○
sw161	平成12 (2000)	平成10 (1998)	小1	男	その他	プール	溺水による多臓器不全	生活科授業時、プールでペットボトルで作った乗り物を浮かべて遊んでいた。本児のグループは深い方を目掛けてバタ足をしていたが、ペットボトルの乗り物が児童たちの重さで壊れそうになったため、浅い方に急いで戻った。しかし、本児は浅い方に戻ることができず、プールの中でうつ伏せになっているのを他の児童が発見し、担当教諭に知らせた。急いで本児を引き上げ、人工呼吸、心臓マッサージを行い、救急車で病院に搬送したが、意識は回復せず、24日後に死亡した。					○
sw162	平成12 (2000)	平成10 (1998)	小6	女	学校行事	海	多臓器不全	学校行事の移動教室中、磯観察のために浜辺に行き「水に入るのは膝まで、泳がない」との注意を確認の上、磯観察を始めた。担当教諭は浜で少し距離を置いて見守っていた。膝までという約束にもかかわらず、本児は腰ぐらまで水に浸かって遊び始めた。しばらくすると、付き添いの看護婦が海に浮いている本児を発見し、急いで救出した。人工呼吸、心臓マッサージを行うとともに、病院に搬送し治療を受けるが、5日後に死亡した。					○
sw163	平成12 (2000)	平成10 (1998)	小6	男	水泳指導	プール	急性心不全	課外指導時、地区水泳大会に向けて、特別水泳練習をしていた。クロールで25メートル泳ぐ毎に休憩を取り、100メートルを泳いだ後、指導者と言葉を交わしている最中、コースロープに首をもたせかけ、身体を反転させながら仰向けになり、水中に沈み始めた。指導者がすぐにプールの中で抱き上げステップまで誘導すると、自力でプールサイドに上がり横たわったが、息が荒々しく「足が痛い」と訴えた。指導者が声を掛けながらマッサージをしていたが意識不明となり、運動場にいた元消防署員と一緒に心肺蘇生を行い、救急車で病院に搬送したが、2時間後に死亡した。				○	
sw164	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小1	女	体育	プール	溺水	体育の授業中、1・2年生(121名)が合同で、4名の担任教師の下に、体育の水泳指導を受けていた。20分余りの一斉指導が終了、休憩に入り、その後、始まった自由泳ぎの最中、プールサイドにいた児童からの連絡で、仰向けの状態で浮いていた本児に気付き、2名の教師が直ちにプールサイドに引き上げた。心肺蘇生を施行するとともに、救急車を要請。搬送された医療機関において、治療を受けるが、意識不明の状態が続き死亡した。					○
sw165	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	高1	男	体育	プール	頸髄損傷	体育の水泳の授業にて、準備体操・50m自由泳法でのウォーミングアップの後、800m泳ぎを開始する。1本目は生徒全員プールの内からのスタートであったが、2本目からは「逆飛び込み」でスタートすることとなり、担当教師・他の生徒に続いて本生徒もスタートしたが、逆飛び込みに失敗し、頭頂部をプールの底面に衝突させ、うつぶせのまま水面に浮いてきた。前後にいた生徒及び教師が、本生徒をプールサイドに運び、救急車で医療機関へ搬送したが、10日後に死亡した。					○

sw166	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	高2	女	学校行 事	プール	溺死	修学旅行(海外研修旅行)第4日目、午前中の行程(オリエンテーリング)を終え、午後から行われたスポーツ講習会(スカッシュなど4種目)の後、夕食までの自由時間を希望者20名程の生徒が、教師及び受け入れ校側の救助人の下に、プールで泳ぐことになった。本生徒が30分ほど泳いだ後、潜ったまま浮かんでこないことに、プールサイドにいた他の生徒が気づき、その後浮いてきた状態がおかしいのでその場にいたスポーツ講習会のコーチに異常を知らせた。異変に気付いた男子生徒がプールサイドに引き上げたが意識がなかったため、直ちに救急車を呼び、病院に運ばれた。搬送後、集中治療を受けるが、意識が戻らないまま死亡した。							○
sw167	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小1	女	水泳指 導	プール	低酸素脳症	夏休みの水泳指導中、準備運動を済ませ、自由遊泳をしていた本児が水底に沈んでいるのを他の児童が発見し、プールサイドに引き上げ心肺蘇生を施すとともに、救急車要請。その後、搬送された病院で手当てを受けるが死亡した。							○
sw168	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小2	女	水泳指 導	プール	溺水	夏休みの水泳指導中、プール当番の教師及び監視補助員の監視のもと、本児は第6コースを自由泳ぎしていた。この際、左膝を排水口に吸い込まれ、溺水状態となった。直ちにプールの中から引き上げ救急車で病院へ搬送したが6日後に死亡した。							○
sw169	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小6	女	体育	プール	心不全	体育の授業で水泳を行っていたとき、本児は準備運動後の、クロールの練習中、突然担任の目の前で異常な動き(斜め仰向けに回りだす)をとったため、直ちに水から引き上げた。本児の意識、呼吸及び脈が確認できなかったため、人工呼吸、心臓マッサージを行った。その後、病院に搬送されるが、約1時間40分後に死亡した。	○						
sw170	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小6	女	水泳指 導	プール	脳梗塞	夏季休業中の水泳指導に参加していた本児は、準備運動後、25mを2本泳ぎ終わったところで教師に頭痛を訴えた。このためプールから上がるよう指導を受け、プールサイドを歩き、ベンチに向かったが、ベンチ横でうずくまり、右こめかみの頭痛を訴えたため、ベンチに寝かせたところけいれんを起こした。直ちに救急車を要請し、搬送された病院で検査加療を続けるが、容態が急変し死亡した。					○		
sw171	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小3	男	体育	プール	突然死	6月体育授業(10:00)のプールで水泳中							○
sw172	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小4	男	水泳指 導	プール	心臓系疾患	7月課外指導(夏休み中)(13:20)のプールで水泳中	○						
sw173	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小5	男	水泳大 会	プール	心臓系疾患	7月学校行事(水泳記録会)(16:39)のプールで水泳中	○						
sw174	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小6	女	水泳指 導	プール	中枢神経系	8月課外指導(夏休み中)(11:15)のプールで水泳中					○		
sw175	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	小6	女	体育	プール	心臓系疾患	9月体育授業(9:50)のプールで水泳中	○						

sw176	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	中1	男	体育	プール	突然死	7月体育授業(9:05)のプールで水泳中						○
sw177	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	中2	男	体育	プール	中枢神経系	6月体育授業(9:50)のプールで水泳中		○				
sw178	平成13 (2001)	平成 11,12 (1999, 2000)	高2	男	体育	プール	心臓系疾患	6月体育授業(13:30)のプールでプールから上がろうとして	○					
sw179	平成14 (2002)	平成13 (2001)	小3	男	体育	プール	低酸素性脳症	プールで水泳の授業が開始され、準備運動、水慣れ、本日の各児童の目標に向かっての練習等の後、水泳検定を開始した。本児は1チーム目でスタートし、13m泳いだ地点で検定は終了し、2チーム目がスタートした。スタートから16m地点で本児は下向きの「だるま浮き」のような形で動かない状態になっていたところを発見された。		○				
sw180	平成14 (2002)	平成13 (2001)	小4	女	体育	プール	脳梗塞・前額部挫傷	学年水泳の時間、プールで面かぶりクロールを練習していたところ、4回目にスタートしてまもなく泳ぎがおかしくなり、すぐに引き上げた。眠気を訴え、前額部を押さえる等したため、保護者が病院へ連れて行き、入院したが死亡した。		○				
sw181	平成14 (2002)	平成13 (2001)	小5	女	体育	プール	溺水(疑い)	体育の時間、プールで25mクロールのタイムの測定をしていた。縦25mを7人程度で5グループに分け、1回泳ぎ2回目でタイムを計測した。本児は4グループ目で泳いでいた。ゴール間際で、手足を動かし泳いでいるように見えたが、近くにいた児童が、「先生、目が白い」と異変に気づき、プールサイドに引き上げ、人工呼吸をし、救急車で病院へ搬送、集中治療室で入院加療を受けたが、死亡した。					○	
sw182	平成14 (2002)	平成13 (2001)	小6	男	体育	プール	溺水	体育の時間、プールで水泳の練習中、クロールで20m程泳いだところ、水中で動かなくなり浮いていた。意識がないため、直ちに病院へ搬送したが死亡した。					○	
sw183	平成14 (2002)	平成13 (2001)	小6	男	体育	プール	溺水	体育の時間、プールで水泳を行っていた。けのびやイルカとびを往復し、自由泳ぎに入ったところ、水中に沈みかけている本児を級友が見つかり、すぐにプールサイドに引き上げた。心肺蘇生を行いながら、救急車を要請し病院へ搬送、集中治療室で治療を受けていたが、意識が戻らないまま死亡した。					○	
sw184	平成14 (2002)	平成13 (2001)	高2	女	体育	プール	溺死の疑い	体育の時間、プールでクロールと平泳ぎの75mをそれぞれタイム計測した後、潜水の練習中溺れ、8、9コースの中間地点でうつ伏せ状態で発見される。救急センターへ搬送。心肺停止状態から一時蘇生したが、死亡した。					○	
sw185	平成16 (2004)	平成14 (2002)	高3	男	体育	プール	窒息死	保健体育の時間、小雨が降っていたが水温は25℃あったので水泳の授業が行われた。授業では、15mの潜水の確認テストを実施し、本生徒は前の組4人を抜いてゴールしている。その後、プールサイドにいる他の生徒たちの近くに移動し、腰を下ろしておしゃべりをしていた。会話後、生徒たちはプールに入ったが、その直後、うつぶせの状態水面を漂っている本生徒が発見された。一瞬痙攣し尻から沈んでいき、目も見開いたままだったのですぐに教員、クラスの生徒たちがプールから引き上げた。心肺蘇生法を実施し、救急車により搬送された病院でも救命処置が施されたが、同日、死亡が確認された。					○	

sw186	平成16 (2004)	平成14 (2002)	中1	男	体育	プール	遷延性溺死	保健体育の授業中に泳力検査を実施した。本生徒は、順番を待つ間にプールで遊んでいたが、順番が来たときには、名前を呼んでも返事がなく、水中で意識を失っている状態で発見された。直ちにプールサイドに引上げたが、心臓が停止し、自発呼吸もない状態であり、救急車、校医に連絡し、救急処置の後、医療機関に移送した。処置室での処置により心臓の活動は回復したが、自発呼吸はなく、集中治療室で治療を続けたものの、発生から13日後に死亡した。						○
sw187	平成16 (2004)	平成14 (2002)	中2	男	体育	プール	原因不明の心肺停止	1校時目の保健体育の時間、プールで水泳の授業中、準備運動、健康観察の後、まず、全員の25mのタイムを測定した。その後、5分間の距離泳に移り、全員が各コースに分かれ、両サイドから一斉に5分間泳いだ後、距離を確認した生徒から順次プールサイドに上がったが、担当教諭がプールを観察したとき、5コース中央付近でうつ伏せに浮いている本生徒を発見した。直ちに2名の教員が本生徒をプールサイドに抱え上げ、救急処置を施すとともに、救急車を要請した。救急車到着後、救命措置を取りながら医療機関に搬送し、集中治療室で人工心肺装置による治療が継続されたが、翌日、死亡が確認された。						○
sw188	平成16 (2004)	平成14 (2002)	高2	男	体育	プール	心室細動	保健体育の授業で水泳を行っていた。本生徒は、諸注意を受けた後、プールサイドにて準備運動を行い、シャワーを浴び入水し、水中歩行、ビート板を使用しているバタ足等を行った。いったん水から上がり、50mのタイム測定を行うこととなり、本生徒は、水中から泳ぎ出し、17m位の地点で蛇行を始め、様子がおかしくなった。直ちに教諭がプールサイドに引き上げ、心肺蘇生法を実施し、救急車で病院へ搬送した。搬送された病院では、一時的に心拍が回復したが、脳死状態となり、3日後に死亡した。	○					
sw189	平成16 (2004)	平成15 (2002)	高2	男	学校行事	プール	溺死	修学旅行先で、ホテルのプライベートビーチでマリンスポーツを実施していた。本生徒は、人工ビーチで遊泳していたところ、遊泳区域の浅瀬でぐったりしていることに他の生徒が気づき、浜辺へ引き上げて、ライフセーバーに連絡した。本生徒は直ちに救護所へ運ばれ、救急車が来るまでの間、ライフセーバーや看護師が心臓マッサージ、人工呼吸、酸素吸入等を行った。救急車が到着し、医療機関へ搬送され、医師による救命措置が取られたが、蘇生できず、発生から1時間半後に死亡した。						○
sw190	平成16 (2004)	平成15 (2002)	小5	男	体育	プール	溺死	6校時(14時55分～15時40分)に5年生のプール開きを行った。運動場で準備体操をし、シャワーを浴びて各クラス班に分かれてプールサイドに縦に並んで列ごとに入水した。入水後、水中歩き、もぐりっこ、だるま浮き、ふし浮きを行った。その後、けのび、面かぶり、ばた足、面かぶりクロールをプール横17mの半分を使って、プールサイドから中央に向かって泳いだ。15時25分頃、面かぶりクロール終了後、全員プールサイドに上がったとき、水中に沈んでいる本児童を発見した。						○
sw191	平成16 (2004)	平成15 (2002)	中1	男	体育	プール	急性大動脈解離	当日、2校時目の保健体育の授業は水泳であった。準備体操を行い、シャワーを浴びた後、担当教諭の指示により、ウォーミングアップは好きな泳法で50m×3本を泳ぐことになった。本生徒はバタフライを選択し、泳ぎ始めた。1本目の25mを泳いでターンした後、本生徒は「腰が痛い」と訴えた。プールから上がり、横になって休んだが痛みが取れないため、他の生徒が付き添って保健室へ行った。学級担任が保護者へ連絡したが、本生徒が背中部分の痛みを訴え続けるため、養護教諭が救急車を要請した。医療機関へ搬送後、診察・検査を受け、動脈瘤が発見されたため、別の医療機関に転移し、緊急手術を受けた。手術後も心臓が一時止まったり、血圧が下がったりして状態は改善せず、発生から5日後に死亡した。						○

sw192	平成16 (2004)	平成15 (2002)	中3	男	体育	プール	溺死	4校時目の保健体育の授業で水泳を実施していた。準備運動、シャワー、水慣れのために、けのび、股ぐり及びクロール、平泳ぎ、得意泳法を各1本(15m)泳いだ。そして、50m泳力検定をするために、8人1グループで泳ぎ、本生徒は2番目のグループで泳いだ。水泳が得意な本生徒は、他の生徒よりも早く50mを泳ぎきりゴールしたが、立ち上がった直後、倒れるように水中に沈んだ。救急車により病院搬送されたが、溺水による窒息のため死亡した。					○	
sw193	平成16 (2004)	平成15 (2002)	小6	男	学校行事	海	溺死	当日は、2泊3日の修学旅行の第1日目で、午前中の観光と昼食を終えた後、遊泳のため海岸に向かった。引率教諭の指導のもと、渚で海水浴をしていたとき、5~6名が岩場近くの沖に向かっているのを発見した。引率教諭が追いかけたが、本児童を含む数名が潮に流され、本児童と救助に向かった教員1名が行方不明となった。もう1人の引率教諭が救援を要請し、浜にいた人達に協力してもらい、付近を捜索した。しばらくして本児童が発見され、レスキュー隊とともに心肺蘇生法を施し、救急車により医療機関に搬送されたが、発生から約6時間後に死亡した。					○	
sw194	平成17 (2005)	平成16 (2004)	小3	男	体育	プール	心臓系 突然死	朝の体育の授業で、6名の指導者のもとプールで水泳指導を受ける。10分間の準備体操を経て入水、水慣れ(腰かけバタ足、顔を水につけない水中歩行)の後、グループ別指導が開始されたが、本児童は、1本目を泳ぎ出して、約20m付近で急に泳ぎが止まり、その場に浮いた状態になった。グループの担当教諭がその状態に気がつき、プールサイドにあげ、他教諭へ連絡、救急車要請を指示した。脈がわずかにふれる程度で、チアノーゼ状態だったため、現場に直行した養護教諭がすぐに心肺蘇生を行った。	○					
sw195	平成17 (2005)	平成16 (2004)	中3	男	体育	プール	溺死	5校時目の体育(水泳)の授業で、水慣れのあと、クロールの練習を4本行った。その後に、平泳ぎの練習をしているとき、2コースに本生徒が水中に沈んでいるのを後ろから泳いできた生徒が発見し、大きな声で男子担当教諭に知らせた。					○	
sw196	平成17 (2005)	平成16 (2004)	高2	男	学校行事	プール	溺死	本生徒は記念祭で発表する男子シンクロ「ウォーターボーイズ」を演ずるため室内温水プールで練習中、プールに沈んでいる本生徒を教諭が発見する。					○	
sw197	平成17 (2005)	平成16 (2004)	小5	男	体育	プール	溺死	6校時(14時55分~15時40分)に5年生のプール開きを行った。運動場で準備体操をし、シャワーを浴びて各クラス4班に分かれてプールサイドに縦に並んで列ごとに入水した。入水後、水中歩き、もぐりっこ、だるま浮き、伏し浮きを行った。その後、けのび、面かぶり、ばた足、面かぶりクロールをプール横17mの半分を使って、プールサイドから中央に向かって泳いだ。15時25分ごろ、面かぶりクロール終了後、全員プールサイドに上がったとき、水中に沈んでいる本児童を発見した。					○	
sw198	平成18 (2006)	平成17 (2005)	小1	男	体育	川	溺死	体育授業中、近くの温水プールでの水泳学習を終え、準備のできた児童から学校へ戻っていたが、当時、豪雨で急激に増水し、勢いの強い流れの為、道路側溝のグレーチングがはずれ、2、30cm開いていた。他の児童が、側溝にはまり、助け出されたが、その後本児童の水着袋が発見され、捜索されるも、翌日川中州で発見された。側溝から転落し、流されたものと思われる。					○	
sw199	平成18 (2006)	平成17 (2005)	小5	男	水泳指導	プール	心臓系 突然死	水泳指導中、準備運動、シャワーの後、プールの横(13.5m)を使って、水中走り1往復、後ろ向き走り1往復、イルカ飛び前後1往復、クロール1往復を泳いだ。その後、プールの縦を(25m)使って50mをクロールで泳ぎ出した。45m付近に来たとき、本児童の泳ぎの動作が止まり、そのままの状態に浮いた。なお、本児童は、持病(QT症候群)を持っていた。	○					

sw200	平成19 (2007)	平成18 (2006)	高1	男	学校行事	海	溺死	特別活動の海水浴中、本生徒がいないことに気付き、付近を捜索したところ、海中に沈んでいるのを発見した。直ちに浜に引き上げ心肺蘇生法を実施し、救急車を要請した。救急車到着後、医療機関に搬送した。搬送先の病院にて死亡が確認された。				○	
sw201	平成19 (2007)	平成18 (2006)	高2	男	学校行事	海	溺死	見学旅行中、水族館を見学した後、徒歩5分のビーチに行き、上半身裸のトランクス姿になり、水深30cmのところで遊んでいたが、集合時間が近づいたため、友人が呼びに行ったところ、仰向けで意識不明の状態で見られる。病院へ搬送されたが死亡した。				○	
sw202	平成20 (2008)	平成19 (2007)	小1	男	体育	プール	心臓系 突然死	水泳授業終了時、幼少のときから心臓に疾患を持っていた本児童の体の具合が悪くなり、プール東側の縁のオーバーフローのコンクリート部分に頭をもたれかけて動かなくなった。本児童の体の状態を調べた結果、心肺の停止が確認され蘇生処置を行ったが、脳症となった。救急搬送先の病院でリハビリ療法を受けるなどの治療を続け、養護学校に転入したが学校生活では、呼吸状態が不安定な日が続いていた。約7年後、心肺停止し急性心不全のため死亡した。	○				
sw203	平成20 (2008)	平成19 (2007)	小5	男	体育	プール	溺死	低学年プールで泳力検定の練習をしていたところ、溺れているのを担任が発見し、直ちにプールサイドに引き上げ、気道確保した。自力呼吸をしていたが、意識不明であったため、病院に搬送した。病院で手当を受けたが、手当の甲斐なく死亡した。				○	
sw204	平成22 (2010)	平成21 (2009)	高3	男	体育	プール	大血管系 突然死	水泳の実技終了後の整理体操中に突然倒れた。授業内容は、クロール、平泳ぎ、背泳ぎをそれぞれ(25m×2本)行い、タイム計測で背泳ぎ(25m×1本)、体力別に背泳ぎ(25m×2本)であった。意識がないので、人工呼吸・心臓マッサージを行いAEDを1回作動させた。病院に搬送されたが、同日死亡した。					○
sw205	平成22 (2010)	平成21 (2009)	高2	男	学校行事	海	溺死	学校行事で海水浴を実施した。教員3名が海岸で、3名が海の中で生徒の動静把握にあたる。一瞬大きな波が来て数人が巻き込まれ、自力または助けられ岸に戻ったが、本生徒は捜索の結果、岸から20m位の浅瀬で見られた。				○	
sw206	平成22 (2010)	平成21 (2009)	保	女	体育	プール	溺死	園児数十名と保育士4名が、小学校のプールを利用して水遊びをするために出かけた。11時頃大プールで元気に泳いで遊んでいる本児を確認した。その後、大プールの中にいた保育士がうつむいて水中に浮かんでいる本児を発見し、すぐ水から引き上げ、心臓マッサージを行い、AEDの指示に従い処置をした。救急車到着後、消防職員が応急処置をし、駆け付けた保護者と共に病院へ搬送した。入院治療をしていたが、後日死亡した。				○	
sw207	平成23 (2011)	平成22 (2010)	小2	男	体育	プール	溺死	水泳の授業中、大プールに移動し自由泳ぎをしていたが、教師の目が行き届かなかった5分程の間に溺水した。				○	
sw208	平成23 (2011)	平成22 (2010)	小5	女	学校行事	海	突大血管系	臨海学校の遠泳中、水泳指導の教諭達はそれぞれが適当な間隔を空けて児童達の様子を監視しつつ浮き輪を使い泳いでいた。突然本児童の動きが止まり、気付いた教諭がすぐに近寄り「しっかりしろ」と言いながら後頭部を支え顔が水に浸らない様にした。既に目が虚ろで意識も定かではなかった。3人の教諭で監視の小船にポディーボードを使って引き上げた。直ちに人工呼吸、心臓マッサージを始めると同時に119番の要請をした。到着したドクターヘリの医療チームに引き渡した。医療機関で救命措置を行ったが、後日死亡した。					○
sw209	平成24 (2012)	平成23 (2011)	小3	男	体育	プール	溺死	泳力測定中、18メートル付近で泳ぎを止めたにもかかわらず、立ち上がらずに体を斜めに傾け、片足でジャンプするように動き、顔は水面につき、手はバタバタと動いた。すぐに本児童を両手で助け上げ、プールサイドに運んだ。呼吸を確認し気道を確保し、タオルケットで体をくるんだ。その後様子が変わったので救急車を要請した。呼吸が弱くなったので、人工呼吸・心臓マッサージを行った。救急車で病院に搬送し、治療を受けた。その後入退院を繰り返し、翌年死亡した。				○	

sw210	平成24 (2012)	平成23 (2011)	小5	女	水泳指 導	プール	溺死	夏季休業時のプール開放時、本児は他の児童10名とともに、25メートルをクロールで泳いでいた。ほぼ中間地点にさしかかった頃、急に動きがバタバタし始め、13メートル付近でおむけ状態となった。すぐにプールサイドに引き上げ、心肺蘇生を行い、病院に搬送後、治療を受けていたが、後日死亡した。				○	
sw211	平成25 (2013)	平成24 (2012)	小1	女	水泳指 導	プール	溺死	夏季休業中、低学年プール指導の際の自由プールの時間、教員が水面にうつ伏せで浮かんでいる本児を発見した。意識はなく、すぐに心臓マッサージ、人工呼吸、AEDを試みる。救急隊到着後、病院に搬送、集中治療室で治療を受けていたが、翌日死亡した。				○	
プール 海・川								196 15	79	17	5	93	17

上記事例は、学校管理下において水泳の活動中(部活動を除く)に発生した「死亡」の事件事例です。次の点に留意してください。

<一般的な留意事項>

- ①事例は、(独)日本スポーツ振興センターがほぼ毎年発行している『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』から抽出したものです。
- ②「事故発生年度」というのは、厳密にいうと、(独)日本スポーツ振興センターから「死亡見舞金」が支払われた年度です。したがって、死亡見舞金の支払いが年度をまたぐ場合(たとえば、事故発生は12月で死亡が翌年の5月の場合、あるいは支払いそのものが年度をまたぐ場合)には、「事故発生年度」は、実際に事故が発生した年度と一致しません。
- ③「学年」は事故発生時点の学年です。
- ④「死因」や「事故の概要」は、(独)日本スポーツ振興センターの報告をそのまま引用したものです。したがって、事故後の裁判等のなかで争われたこと、あるいは明らかにされたこととは、内容が異なることがあります。そうした場合には、この資料の下部にて別途、新しい情報を掲載することがあります。
- ⑤いわゆる「事件」性の高い事例として解釈されている件についても、ここではすべて用語上「事故」としています。

<水泳事故関連の留意事項>

- 「体育」には、保育所や幼稚園での水泳指導が含まれます。
- 「学校行事」とは、基本的に校外での学習機会(臨海学校やキャンプ)を指しています。
- 「水泳指導」のほとんどは、夏季休暇中の水泳指導です。一部に、放課後の水泳指導が含まれています。